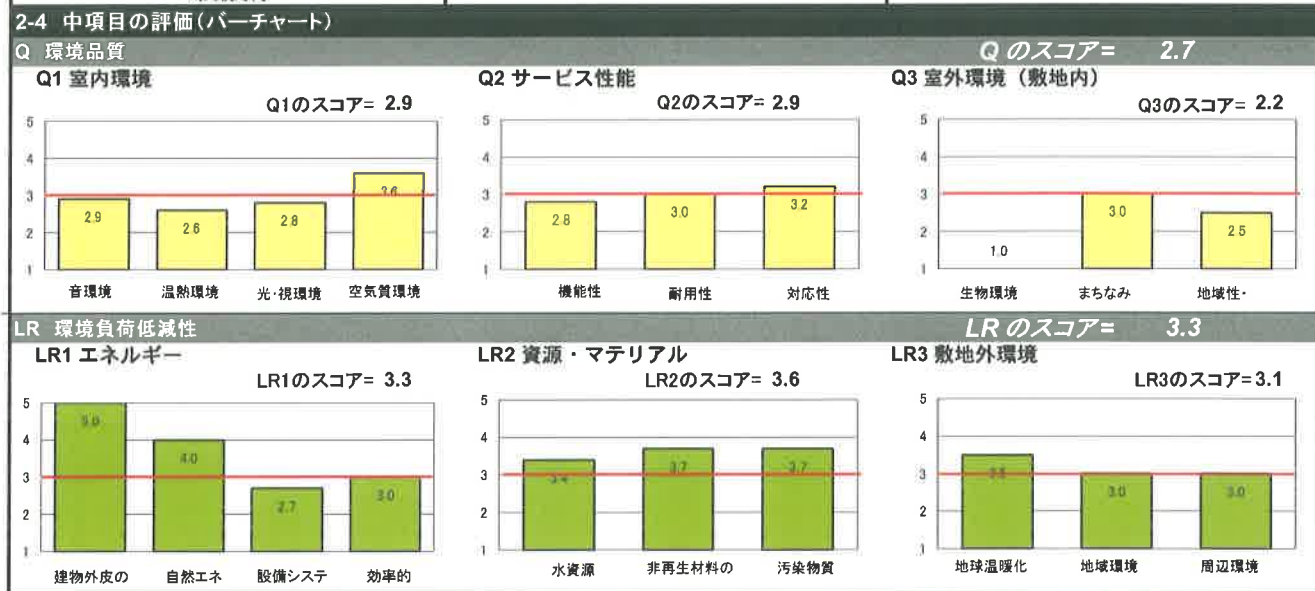
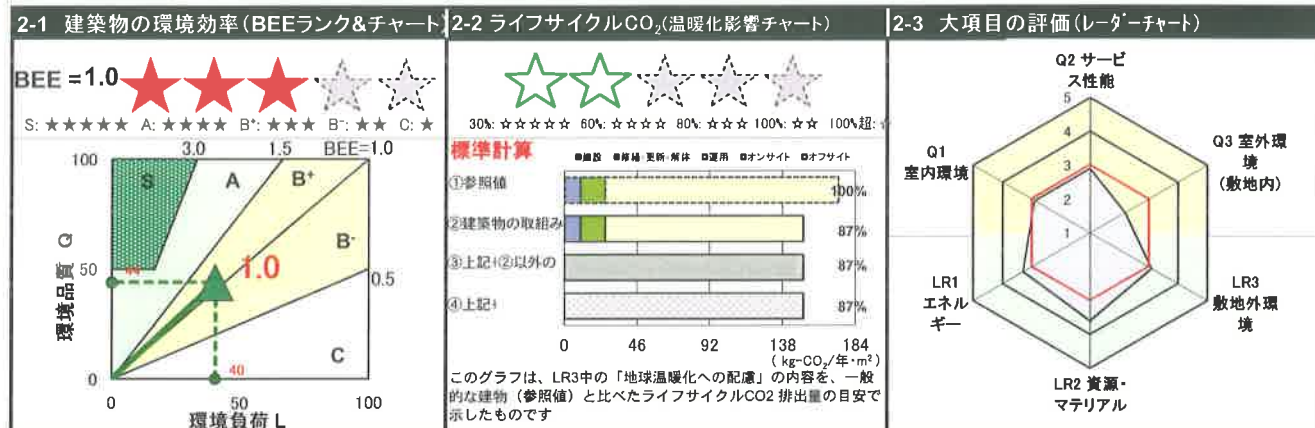


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	障害者支援施設新あさひ園(仮称)	階数	地上2F
建設地	鳥取県鳥取市湖山町西三丁目113-1	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年11月2日
敷地面積	4,334 m ²	作成者	河村 健
建築面積	1,590 m ²	確認日	2020年11月2日
延床面積	2,505 m ²	確認者	河村 健



3 設計上の配慮事項		
総合 省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 使用する材料は全てF☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 入居者が満足できるよう、十分な個室スペースを確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化を積極的に行っている。
LR1 エネルギー 断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮する。	LR2 資源・マテリアル 主要水栓に自動水栓、節水型便器を採用し、節水に努めている。	LR3 敷地外環境 屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される